

◆◆◆◆◆ Chassis ◆◆◆◆◆



▲ Spirit 201 (1983)

F-1 復帰最初のシャーシ。スピリットのシャーシもF-1 初経験であり、これといった戦績は残せなかった。(6戦参戦 最高位7位)

▼ Williams FW09 (1983 ~1984)

ウィリアムズとジョイント最初のシャーシ。第9戦アメリカGPで復帰後初優勝。(17戦参戦 優勝1回)



▲ Williams FW10 (1985)

シャーシ、エンジン共に進化し、安定したレースが出来るようになってきた時期。(全16戦参戦 優勝4回)

▼ Williams FW11 (1986)

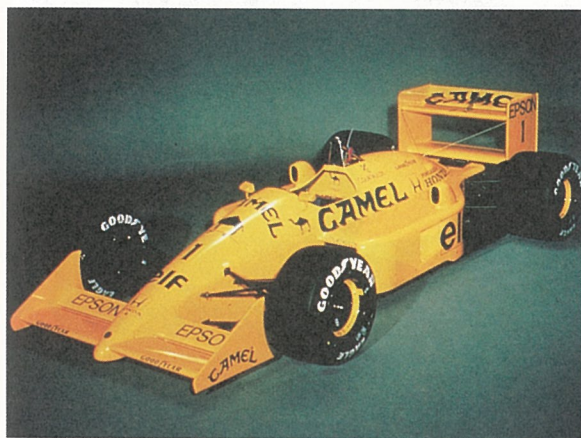
コンストラクターズ・チャンピオンシップを初めて獲得。(全16戦参戦 優勝9回)





▲ Williams FW11B (1987)

コンストラクターズ・チャンピオンシップ2年連続、ドライバーズ・チャンピオンシップ初獲得。(全16戦参戦 優勝9回)



▲ Lotus 100T (1988)

ターボエンジン最後の年。(全16戦参戦 最高位3位)

▼ Lotus 99T (1987)

ウィリアムズと共に2チーム供給体制。中嶋悟F-1初参戦。(全16戦参戦 優勝2回)



▼ McLaren MP4/4 (1988)

コンストラクターズ・チャンピオンシップ3年連続、ドライバーズ・チャンピオンシップ2年連続獲得。(全16戦参戦 優勝15回)





▲ McLaren MP4/5 (1989)

NAエンジン (V10) のみの参戦規定。コンストラクターズ・チャンピオンシップ4年連続、ドライバーズ・チャンピオンシップ3年連続獲得。(全16戦参戦 優勝10回)



▲ McLaren MP4/6 (1991)

コンストラクターズ・チャンピオンシップ6年連続、ドライバーズ・チャンピオンシップ5年連続獲得。(全16戦参戦 優勝8回)

▼ McLaren MP4/5 B (1990)

コンストラクターズ・チャンピオンシップ5年連続、ドライバーズ・チャンピオンシップ4年連続獲得。(全16戦参戦 優勝6回)



▼ Tyrrell 020 (1991)

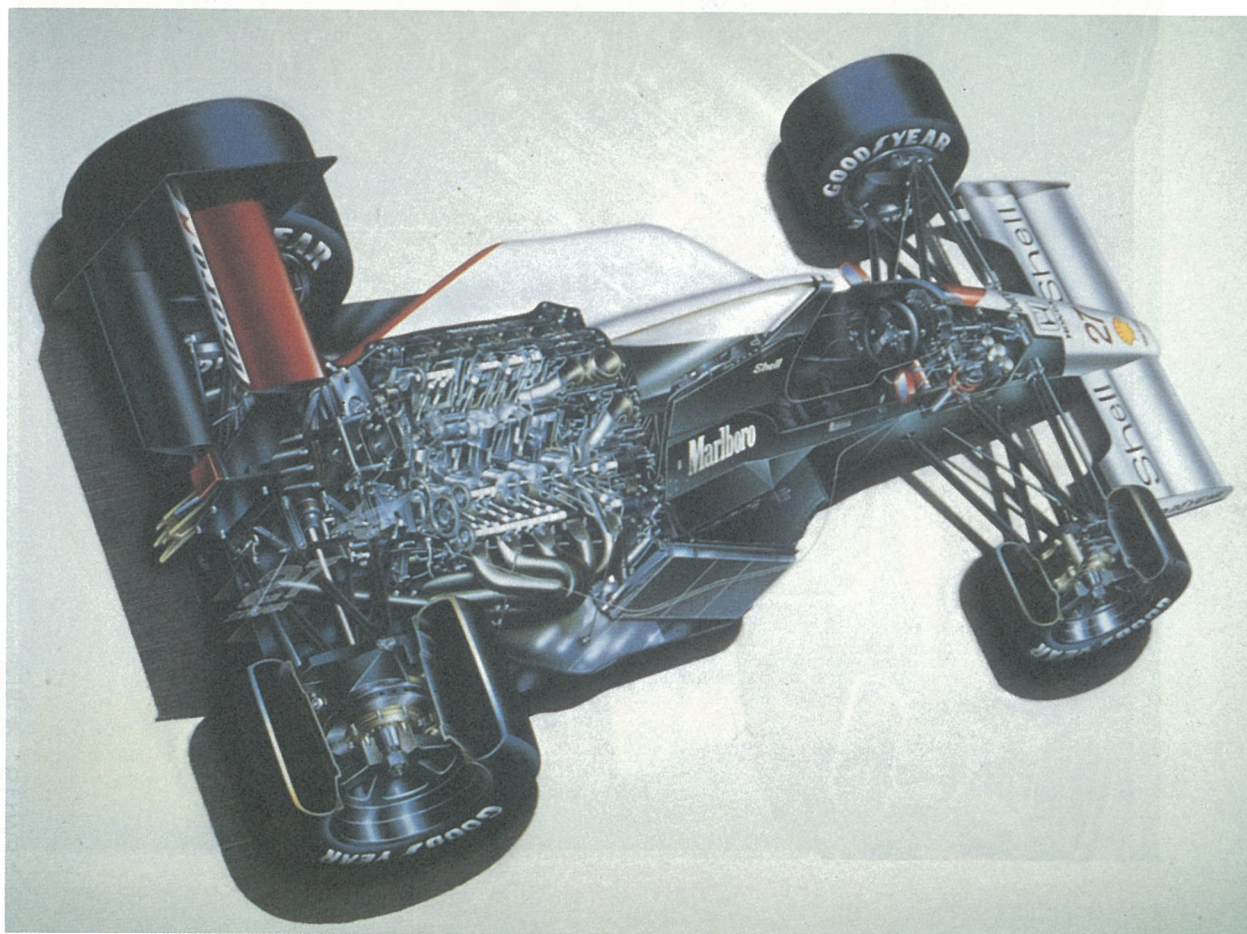
V10を供給。中嶋悟参戦最終年。(全16戦参戦 最高位2位)



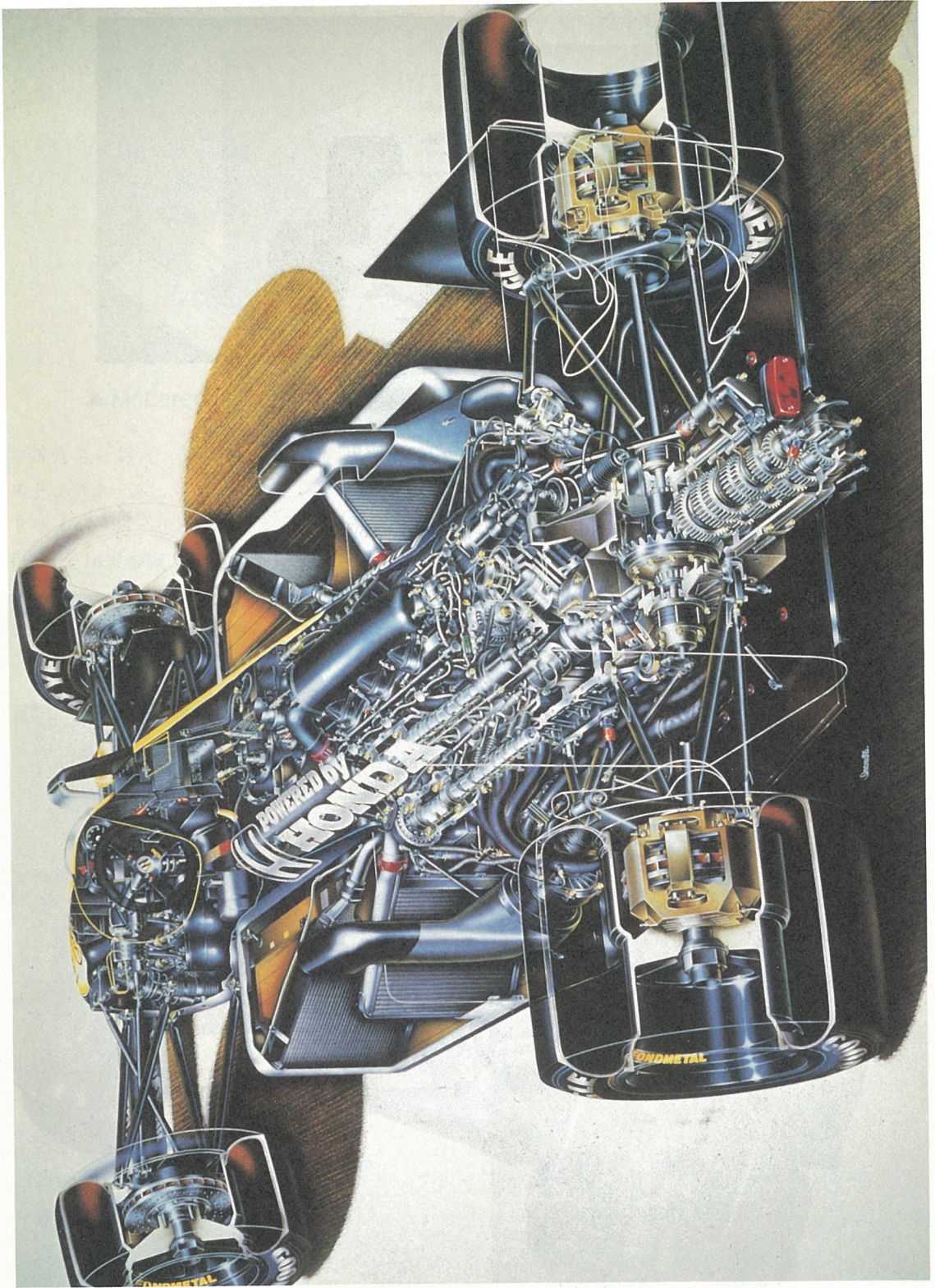


McLaren MP4/7 (1992)

ホンダF-1 参戦最終年。(全16戦参戦
優勝6回)



MP4/5B 透視図



FW11B 透視図

